記　者　発　表　資　料

令和 8 年 11 月 13 日
（公財）横浜市芸術文化振興財団
横浜美術館

横浜美術館が誇る珠玉の名品が登場

横浜美術館コレクション展「海をこえてゆく彼女」「ハイライト」展示アップデートとアーティストトークの開催が決定！

現在開催中の横浜美術館コレクション展は、12 月 11 日（金）以降、展示スペースを増設し、来年 2 月 11 日（木・祝）まで開催いたします。8 月 1 日（土）より開催中の「海をこえてゆく彼女」に加え、ご好評いただいている「ハイライト」を拡張。横浜美術館が誇る日本画の名品の数々と、リニューアル後、当館でははじめてお披露目する新収蔵品もご紹介します。

さらに、1 月 9 日（土）には、出品作家・吉田亜世美氏をお招きし、明治期から国を超えて活躍するアーティスト一家、YOSHIDA FAMILY とご自身の創作についてお話しいただく、「アーティストトーク」を開催します。

この冬、さらに見どころが広がるコレクション展。この機会にぜひご注目ください。




下村観山《小倉山》1909 年（明治 42 年）、絹本着色、六曲屏風一双、各 157.0×333.5cm

（詳細は添付資料をご参照ください。）

会期	2026 年 8 月 1 日（土）～2027 年 2 月 11 日（木・祝） ※ただし 11 月 24 日（火）～12 月 10 日（木）は閉室 ※「ハイライト＋（プラス）」は 12 月 11 日（金）より開室
会場	横浜美術館　ギャラリー1、ギャラリー2、ギャラリー3、ホワイエ
開館時間	10：00～18：00（11 月 14 日・20 日・21 日・22 日は 20：00 まで）＊入館は閉館の 30 分前まで
休館日	木曜日（11 月 19 日、2 月 11 日は開館）、2026 年 12 月 29 日（火）～2027 年 1 月 3 日（日）
観覧料	一般 500（400）円／大学生 300（240）円／中学・高校生 100（80）円／小学生以下無料 ＊( )内は有料 20 名以上の団体料金（要事前予約［TEL:045-221-0300］、美術館券売所でのみ販売） ＊毎週土曜日は、高校生以下無料 ＊障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1 名）は無料 ＊11 月 23 日（月・祝）まで、「マリー・アントワネット・スタイル」展ご観覧当日に限り、「マリー・アントワネット・スタイル」展の観覧券で横浜美術館コレクション展「海をこえてゆく彼女」もご覧いただけます。 ＊じゆうエリア（グランドギャラリー）でのコレクション展は観覧無料
問合せ	横浜美術館 045-221-0300（代表）

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

本件についてのお問合せ先　＊本日は 17 時 15 分まで在席しております。

横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】		横浜市西区みなとみらい 3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	担当グループ長	水谷	Tel 045-221-0368
	広報担当	岩見屋、志谷	Tel 045-221-0319

Press Release

2026 年 11 月 13 日

横浜美術館
YOKOHAMA
MUSEUM OF ART

横浜美術館コレクション展「海をこえてゆく彼女」「ハイライト」展示アップデートとアーティストトーク開催のお知らせ

現在開催中の横浜美術館コレクション展は、12 月 11 日（金）以降、展示スペースを増設し、来年 2 月 11 日（木・祝）まで開催します。8 月 1 日（土）より開催中の「海をこえてゆく彼女」に加え、ご好評いただいている「ハイライト」を拡張し、横浜美術館が誇る日本画の名品を展示します。リニューアル後、当館でははじめてお披露目する新収蔵品の数々もお楽しみください。

また 1 月 9 日（土）には、出品作家・吉田亜世美氏をお招きし、明治期から国を超えて活躍するアーティスト一家、YOSHIDA FAMILY とご自身の創作についてお話しいただきます。貴重な資料の数々をスライドで追いながら「海をこえてゆく彼女」の展示を深堀りし、20 世紀以降の美術のダイナミズムを感じていただける機会になるでしょう。

この冬は当館コレクションの粋（すい）をどうぞご堪能ください。

「ハイライト」の拡張

展示室ひと部屋分を増設、「ハイライト＋（プラス）」として下村観山《小倉山》をはじめ、鏑木清方、小倉遊亀、片岡球子、藤田喬平らによる日本画や工芸の名品を紹介します。また「海をこえてゆく彼女」の特集にあわせた女性の日本画家の作品や、当館でははじめてご紹介する新収蔵品にもご注目ください。





下村観山《小倉山》1909 年（明治 42 年）、絹本着色、六曲屏風一双、各 157.0×333.5cm

出品作家：小倉遊亀、片岡球子、鏑木清方、下村観山、荘司福、藤田喬平ほか
期間：2026 年 12 月 11 日（金）～2027 年 2 月 11 日（木・祝）

関連イベントの追加開催

●「海をこえてゆく彼女」アーティストトーク｜吉田亜世美

日　時：2027 年 1 月 9 日（土）14:00〜15:30
会　場：横浜美術館グランドギャラリーまるまるラウンジ、ギャラリー3（コレクション展 展示室）
出演者：吉田亜世美氏（美術家、本展出品作家）
聞き手：片多祐子（横浜美術館主任学芸員、本展担当）
参加費：無料（申込不要）
※コレクション展会場内で開催するトークへの参加には、当日有効の観覧券が必要です。

〈プロフィール〉

1958 年、吉田穂高と千鶴子の長女として東京に生まれる。明治期に外遊しその後画家として活躍した吉田博とふじをは祖父母にあたる。1976 年、父に連れられ、はじめてメキシコ、アメリカを訪問。大学で考古学と建築を学んだのち、留学中にシルクスクリーンに関心を持つ。1980 年、初出品した‘80 サンシャイン版画グランプリ展で優秀賞受賞。1981 年には日本版画協会展協会賞受賞、リュブリアナ国際版画ビエンナーレ出品。木版画と並行し、制作の過程で生じる木屑にも着目し、それらを使用したインスタレーションの制作を開始。以後国内外で展示。2014 年には横浜美術館「魅惑のニッポン木版画」展にて新作を発表。その後も海外を中心に作品発表を続け、2021 年には、徳島県で自ら製作した藍染和紙による作品を Washi Transformed 展に出品（同展は米国内 12 か所を巡回）。



Washi Transformed 展に出品されたインスタレーション前の
吉田亜世美氏

横浜美術館
YOKOHAMA
MUSEUM OF ART

横浜美術館コレクション展

海をこえてゆく彼女

2026 年 8 月 1 日（土）～2027 年 2 月 11 日（木・祝）



マリア・ファーラ《ルームサービス》2021 年、油彩、麻（3 点組）、各 180.0×130.0cm、寄託作品　©Maria Farrar/ Courtesy Ota Fine Arts

みどころ

1. 企画展と一緒にたのしめる！
同時開催の企画展「マリー・アントワネット・スタイル」（11 月 23 日まで）の主役、マリー・アントワネットは、ウィーン生まれでフランスの王妃となったファッションリーダー。そんなアントワネットにちなみ、このコレクション展では国境をこえて活躍した女性たちに着目します。

2. 「毛利悠子 Recompose」展とコレクション展だけでもたのしめる！
コレクション展は小学生以下無料、大人もワンコインでたのしめます。同時開催の「毛利悠子　Recompose」展（無料／11 月 23 日まで）とも連動した内容です。今回のコレクション展は 2027 年 2 月までと会期も長いので、いつでも気軽に、何度でも、ご覧ください。

3. はじめて展示される作品も
近年、あらたに収蔵された作品のなかから、テーマに沿う作品を厳選し、初公開します。

4. 「名品」をゆったりと
横浜美術館の顔となる「名品」をゆったりと展示するハイライトコーナー。今回はテーマにあわせて女性作家の作品もご紹介します。おなじみのダリ作品に加えて、久しぶりに他館の展示から戻ってきたルネ・マグリット《王様の美術館》、シュルレアリスムの女性アーティスト、メレット・オッペンハイム作品も。初公開の草間彌生（寄託作品）も見どころのひとつです。

概要

横浜美術館では、横浜が開港した 19 世紀後半から現代にいたる約 15,000 点の作品を所蔵しています。コレクション展では、会期ごとにさまざまな角度からコレクションの魅力を発信しています。

今回のコレクション展では「海をこえてゆく彼女」と題した特集コーナーを設け、20 世紀以降、国境をこえて活動した女性たちに焦点をあてます。この特集は、海外文化に接した女性画家の第一世代となった、3 人の作家と家族との関係をふりかえるところから幕を開けます。続いて、欧米圏から日本を含むアジアへ渡航した作家たちの作品を紹介します。彼女たちの創作からは、異なる風土や文化への新鮮な驚きや視点が伝わってきます。また日本では第二次世界大戦後、高度経済成長期を迎えると、1964 年に海外旅行が自由化されました。こうした時代背景のもと、異国で美術を学ぶ作家や、世界各国を旅し、創作の糧とした作家も多くいました。さらに 20 世紀後半以降、ヴェネチア・ビエンナーレに代表される国際展においても、女性アーティストたちはめざましい活躍をみせました。

この展示では、世界を舞台に、しなやかに、そしてたくましく生きた女性たちの創作をたどります。グローバリゼーションのうねりのなかで生まれた彼女たちの作品にやどる生命力にどうぞご注目ください。

展示の構成・主な出品作家

●特集：海をこえてゆく彼女

1. 家族とともに

五姓田芳柳、五姓田義松、渡辺幽香、岡村政子、吉田博、吉田ふじを、吉田遠志、吉田穂高、吉田千鶴子、吉田亜世美



吉田ふじを《伊国ヴェニス市　ドーヂの宮殿》
1906 年、水彩、紙、22.6×28.3cm
吉田千鶴子氏寄贈

2. 交差するまなざし

ヘレン・ハイド、バーサ・ラム、エマ・ボーマン、マリア・ファーラ



ヘレン・ハイド《かたこと》
1908 年、多色木版、28.8×46.4cm

3. それぞれの航路

岩見禮花、榎本和子、奥山民枝、桂ゆき、北久美子、
川久保玲、小西真奈、小林ドンゲ、嶋田しづ、
辰野登恵子、丹阿弥丹波子、富山妙子、福田美蘭、
福島秀子



榎本和子《記憶の時》
1951 年、油彩、カンヴァス、90.8×65.2cm
旧・大岡信コレクション（明治大学寄贈）



桂ゆき《飛ぶ》
1950 年、油彩、カンヴァス、
145.5×97.0cm

4. ヴェネチア・ビエンナーレという舞台

江見絹子、草間彌生、田中敦子、石内都、
やなぎみわ、束芋、塩田千春



やなぎみわ《案内嬢の部屋 B3》
1997 年、発色現像方式印画、アクリル板、180.0×450.0cm、寄託作品
©Miwa Yanagi

●ハイライト

サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、メレット・オッペンハイム、
パブロ・ピカソ、奈良美智、草間彌生ほか



ルネ・マグリット《王様の美術館》1966 年、油彩、カンヴァス、130.0×89.0cm

●ハイライト＋（プラス）

12 月 11 日より展示室をひと部屋増設し、日本画と工芸の名品を紹介。

小倉遊亀、片岡球子、鏑木清方、下村観山ほか



下村観山《小倉山》1909 年（明治 42 年）、絹本着色、六曲屏風一双、各 157.0×333.5cm

関連イベント

1. ギャラリートーク

さまざまな切り口で、学芸員やエデュケーターが作品の見どころやたのしみ方を紹介します。

詳細は、ウェブサイトをご確認ください。

日　時：

①2026 年 8 月 22 日（土）11:00～（英語通訳付）[終了しました]

②2026 年 9 月 18 日（金）14:00～　　[終了しました]

③2027 年 1 月 15 日（金）14:00～

https://yokohama.art.museum/event/yma_collection_gt202701/

④2027 年 2 月 6 日（土）11:00～（手話通訳付）

https://yokohama.art.museum/event/yma_collection_gt202702hs/

会　場：3F コレクション展 展示室

参加費：無料（申込不要）

※当日有効の観覧券が必要です。

2.「海をこえてゆく彼女」アーティストトーク｜吉田亜世美

日　時：2027 年 1 月 9 日（土）14:00〜15:30

会　場：横浜美術館グランドギャラリーまるまるラウンジ、ギャラリー3（コレクション展 展示室）

出演者：吉田亜世美氏（美術家、本展出品作家）

聞き手：片多祐子（横浜美術館主任学芸員、本展担当）

参加費：無料（申込不要）

※コレクション展会場内で開催するトークへの参加には、当日有効の観覧券が必要です。

開催概要

横浜美術館コレクション展

海をこえてゆく彼女

会　　場	横浜美術館（神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1） ギャラリー1、ギャラリー2、ギャラリー3、ホワイエ
会　　期	2026 年 8 月 1 日（土）〜2027 年 2 月 11 日（木・祝） ※ただし 11 月 24 日（火）〜12 月 10 日（木）は閉室 ※「ハイライト＋（プラス）」は 12 月 11 日（金）より開室
開館時間	10:00〜18:00（11 月 14 日・20 日・21 日・22 日は 20：00 まで）＊入館は閉館の 30 分前まで
休 館 日	木曜日（11 月 19 日、2 月 11 日は開館）、2026 年 12 月 29 日（火）〜2027 年 1 月 3 日（日）
観 覧 料	一般 500（400）円／大学生 300（240）円／中学・高校生 100（80）円／小学生以下無料 ※（　）内は有料 20 名以上の団体料金 （要事前予約［TEL:045-221-0300］、美術館券売所でのみ販売） ※毎週土曜日は、高校生以下無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1 名）は無料 ※11 月 23 日（月・祝）まで、「マリー・アントワネット・スタイル」展ご観覧当日に限り、「マリー・アントワネット・スタイル」展の観覧券で横浜美術館コレクション展「海をこえてゆく彼女」もご覧いただけます。 ※じゆうエリア（グランドギャラリー）でのコレクション展は観覧無料
ウェブサイト	https://yokohama.art.museum/exhibition/202608_collection/

横浜美術館　〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1
TEL: 045-221-0300　FAX: 045-221-0317　https://yokohama.art.museum

お問合せ先　横浜美術館 広報担当（岩見屋、志谷）
〒220-0012　神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1
TEL：045-221-0319　FAX：045-221-0317　Email：pr-yma@yaf.or.jp

プレス画像申込はこちら